

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-4 障がい者の自立支援

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 障がい福祉課長 平岡 昇 電話番号 0852-22-6256

事務事業の名称	障がい者地域生活支援事業	
目的	(1) 対象	障がい者
	(2) 意図	能力や適性に合った自立生活を営むことができるよう、移動や生活、コミュニケーション支援等のサービスを提供し、障がい者の社会参加を促進する
事業概要	○障がい者の社会参加のための事業を支援するために、市町村に地域生活支援事業補助金を交付する。 ○障がい者の社会参加を促進するために、指導者育成、生活訓練、啓発広報等の事業を県社会参加推進センター等へ委託する。 ○スポーツを通して障がい者の社会参加を促進するために、(財)島根県障害者スポーツ協会に県大会開催、全国大会派遣等を委託する。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	手話通訳者登録者数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		65.00	70.00	75.00	80.00	
式・定義	手話通訳者登録者数	実績値	60.00	63.00	64.00	64.00		人	
		達成率		96.90	91.40	85.40		%	
指標名	手話通訳者登録者数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				
式・定義	手話通訳者登録者数	実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b)(千円)	288,048	315,182
うち一般財源(千円)	274,376	293,293

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○成果参考指標の手話通訳者登録者数は、手話通訳者全国統一試験合格者数が少ないこと、通訳者が県外転出したこと等により目標値を下回っている。
 ○地域生活支援事業については、県事業、市町村事業ともに事業費が年々増加している。

	〔県分〕	〔市町村分〕	〔合計〕
H24	104,306千円	735,802千円	840,108千円
H25	135,208千円	762,277千円	897,485千円
H26	157,649千円	779,652千円	937,301千円

6. 成果があったこと（改善されたこと）

地域生活支援事業については、県事業、市町村事業とも事業費が伸びており、障がい者の社会参加や地域での自立した生活を支援するための取り組みが充実してきている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

○地域生活支援事業については、市町村によって提供するサービス内容等に格差が生じている。
 ○手話通訳者の登録者数が伸びていない。

②困っている状況が発生している「原因」

○地域生活支援事業については、国からの補助金が補助所要額を大幅に下回っていることによる財源不足が主な原因。
 ○手話通訳者の全国統一試験合格者数が少ないため、登録者数が伸びない。
 (H24~H26の合格者は各年度1人)

③原因を解消するための「課題」

○地域生活支援事業については、市町村が安定的かつ積極的に施策を展開するための財源確保が必要。
 ○手話通訳者養成講習会や統一試験事前研修会の内容見直し、充実が必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○市町村における地域生活支援事業については、サービス提供体制の拡充や利用者ニーズの高まりにより、今後も事業費の増加が見込まれるため、国に対し、実情を反映した規模の予算確保について引き続き要望するとともに、県からも補助率（事業費の1/4）に応じた金額を継続して補助できるよう財源確保に努める。
 ○手話通訳者全国統一試験の合格率が高い都道府県の状況を参考にしながら、統一試験合格のためのより効果的な講習会等の実施を検討する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）